

科目名	精神看護 I (情緒発達と精神看護の基本)				DP1、DP2、 DP3、DP5	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 精神看護	時間数	30時間	担当 教員 外部講師・専任教員
科目 概要	精神看護の基本となる人間理解を目的として、人格の発達過程、人の心理・行動の特性を理解する。また、自己のメンタルヘルスへの関心を持ち、健康な生き方とは何かについて考える。精神保健上の問題が生活と生き方に与える影響を理解し、基本的な関わり方を学ぶ。					
到達 目標	1. ころの健康の捉え方、影響する要因について理解できる。 2. ころの健康の現状ところの健康の維持増進について理解できる。 3. 精神看護の目的と役割について理解できる。					
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員
1～6	現代社会とメンタルヘルス	メンタルヘルスへの関心の高まり、世界的な取り組み、日本における取り組み			講義	外部講師
	人間の心とはなにか	心の意識、心の構造、適応と不適応、防衛機制、ストレスと危機			講義	
	発達と心の課題	発達とは、精神の発達、発達の条件、発達段階と発達課題、各発達段階における発達の特徴と課題			講義	
	心の健康と環境	心の健康と家族、心の健康と学校、心の健康と職場、心の健康と地域社会、心の健康と災害			講義	
7～12	精神看護の特質	精神科看護とはなにか、精神看護の動向			講義	外部講師
	精神保健医療福祉の歴史	世界の精神保健医療福祉の歴史、わが国の精神保健医療福祉の歴史			講義	
	精神保健医療福祉と法律	精神保健福祉法、心神喪失者等医療観察法、発達障害者等医療観察法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法、その他の関係法規			講義	
13～15	災害と精神看護	精神障害者に対する災害看護			講義	専任教員
	看護職者のストレスマネジメント	感情労働としての看護、エモーショナルリテラシー（感情を理解し使いこなす能力）、ストレスマネジメントの方法			講義 演習	
	試験	ゆとり時間			試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。					
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。					
教科書	新看護学 15 精神看護 医学書院 その他、必要時に資料を配布する。					
履修上の 注意点						